

年 組 名前：



三枝 大悟
杉原みずき



QRコードか
PR動画を
見られます

PR動画の撮影をする参加者
— 甲府市内



市の魅力触れ動画作り

映像制作会社などワークショップ

甲府市の魅力を伝えるPR動画制作を通じて、表現手段の一つとして動画作りを学んでもらおうと、市内の映像制作会社などが撮影や編集について教えるワークショップを始めた。担当者は「甲府は田舎で何もない」と言われることがあるが、魅力を見つけられていないだけではないかと考えて企画した」と話している。

〈三枝大悟〉

ワークショップを始めたのは映像制作のKIRIN(同市中央4丁目、桐原信代表)と、ホームページやデザイン制作を手がけるPAN DA(同所、丸茂進代表)。桐原代表によると、東京都内などではクリエイターによる動画作りのワークショップが定期的に開かれているが、山梨ではほとんど聞いたことがなかったため、自身で開くことにした。

5月25日に初回を開き、ライターやフォトグラファー、飲食店経営者ら15人が参加。3グループに分かれた参加者はまず「甲府という言葉を使わず甲府を紹介する方法」などを議論。「アスタルジック」や「武田信玄をイメージする食」などをテーマに設定。女性モデルとともにJR甲府駅周辺を中心に撮影した動画を編集して1分間のPR動画として完成させた。動画は桐原代表が交流サイト(SNS)などを通して公開している。

参加者からは「プロの視点で動画撮影のことを実際に街を歩きながら楽しんで学べた」などの声が上がっていた。ワークショップは年3回程度のペースで開く予定。さまざまなテーマを決めて実施することを考えているという。桐原代表は「もの作りの手段として動画作りに取り組むことで、新しい発想があふれてくるはず」と話している。

(2024年6月18日付 山梨日日新聞 13面)

問1

甲府市内の映像制作会社などは、どのようなワークショップを始めましたか

.....

問2

このワークショップを始めた理由を教えてください。

.....

問3

初回のワークショップでは、なにを議論し、どのようなテーマを設定しましたか。

議論：.....

テーマ：.....